



第一関門を終え、ここからがスタート！

◆ 結果に関わらず、気持ちの切り替えを

共通テスト試験が終わりました。皆さん、本当におつかれさまでした。「普段通りに試験に臨めた」または「思い通りに力を発揮できなかった」と、人それぞれ感触は異なると思います。いずれにせよ、最初の勝負は終わりました。満足か不満足かは別にして、結果を受け入れ、その結果に基づいた行動をしていかなければなりません。

例年、当面の目標だった共通テスト試験が終わって気が抜けてしまう「燃え尽き症候群」の人がいます。けれど、共通テスト試験はあくまで通過点であり、3月まで続く長い受験シーズンのスタートであることを思い出してください。ここから、いかにうまく前向きな気持ちに切り替えていけるかが、最終的な合格を手にするための大きなポイントです。

◆ 全国平均とボーダーはまだ分からない

試験の結果に気持ちが引きずられてしまうのは、仕方がないことです。しかし、いたずらに有頂天になるのも、ただ落ち込むばかりなものも禁物です。これまで皆さんが目標としてきたのは昨年の試験をもとにした得点率であって、今年の全国平均と志望動向を考慮したボーダーなど“本当の結果”はこれからです。どんな状況でも、希望を持ち続けることがとても大切です。今日から再スタートすること！それが共通テストの結果を、ただそれだけに終わらせないためのカギです。

◆ 今日からすべき3つのこと

① 自己採点とリサーチ提出

ベネッセの模試によれば、約4人に1人は10点以上の自己採点ミスがあるそうです。まず、気持ちを落ち着けましょう。そうして正確に！慎重に！を心がけてください。

(1) 自己採点

・自己採点シートと問題冊子で自己採点をしてください。

すでに済ませていても、もう一度丁寧に行いましょう。

・電卓を用いて、小問集計→教科集計。必ず3回は行うこと。

(2) リサーチ記入（「ベネッセ（東進を兼ねる）」→「河合塾」）

(3) アンケート記入（後輩たちのためにもしっかりとお願いします）

(4) 私物整理、諸連絡



② 特編Bを中心に学習を再開する

現役生の学力は、これからの2ヶ月でさらに飛躍的に伸びていきます。そのため出願校すべてが確定していなくても、まず学習を再開することが重要です。来週からは多くの私立大学の受験も本格化していきます。気持ちを切り替え、水曜日から始まる特編Bを拠り所にして再スタートを切りましょう！

なお今後、出願先の決定に伴って特編Bの講座を変更（追加・抹消）する場合には、各講座の授業開始時に担当者へ必ず申し出てください。また、特編Bと平行して自宅研修期間となりますが、学習を中心とした規則正しい生活を維持し、最後まで粘ること。自分を信じて進んでいくことが大切です。

③ 国公立大学の出願検討と最終決定

学習の再スタートとともに、これから決定することが国公立大学の出願です。前期・中期・後期のすべてを同時に行う、その期間は1月23日（月）～2月3日（金）です。ただし、大学により2月3日必着の場合と消印有効の場合がありますので、十分に注意してください。必着であるならば、遅くとも2月1日（水）には投函しないといけません。

共通テストリサーチの結果は今週20日（金）に返却します。その後、翌21日（土）から各クラスでおこなう担任面談で、国公立大の出願校を決定していくことになります。この際、各社の全国集計に基づく複数の判定システムや過去の本校データなども用いて、様々な合格可能性を検討して出願の最終決定をします。この面談はとても重要ですから、保護者をまじえて相談を希望する場合にはクラス担任に申し出てください。なお、各社が提供する判定システムは、水曜日あたりから個人でもオンライン利用が可能です。

出願校は幅広く検討しましょう。結果を受け入れること、また早々と浪人を決意しても学習から遠ざかるだけです。そもそも大学の価値は偏差値だけではありません。有名私大でも「学生一流、設備二流、教授三流」と言われることもあります。一方、国公立大は教官一人あたりの学生数が少なく、指導環境が比較的手厚いと言えるでしょう。その結果として公務員試験や教員採用試験で実績を残し、また比較的安い学費は大学院進学（特に理系学部）や留学にも有利です。人間万事塞翁が馬、希望する学びが可能な場合は、想定していなかった大学にもあるはずです。いま自分に与えられたチャンスに精一杯ぶつかっていきましょう！

◆ 最後の最後、後期試験まで戦い抜こう！

残念なことですが、例年、国公立大前期を終えると、とりあえず合格した私大でよしとして後期を受験しない人がいます。このような早く楽になりたいだけの安易な選択に逃げないでください。「最後まで粘って、自分の努力を証明する！」と決意した出願を思い起こしてください。現役学力の最高点＝今期の最終試験＝後期試験まで戦って、初めて「完全燃焼した！」と言えるのです。毎年、本校から後期日程で合格する生徒は少なくありません。

入学するかどうかは、合格してからでも考えることができます。けれど、その決断は最後の最後、3月まで必死に勉強を続け、受験し、現実合格を手にしたあなたにしかできません。あなたは一人だけで戦っているのでもありません。試合放棄は、親身に支えてくれた人の心を無にすることにもつながります。中途半端に戦いを止め、悔いを残さないでください。

◆ 当面の日程（1月）

18（水）特編Bスタート①②③	23（月）国公立大出願開始（～2/3（金）） 特編①②③
19（木）特編①②／午後休講	
20（金）9:00 リサーチ返却 特編なし	24（火）9:30～小論文講演会（オンライン） 特編①（E化学のみ実施）②③
21（土）国公立大出願の担任面談開始 第3回小論文模試	